

52 抗菌剤に頼らない畜水産物の生産体制の推進

【令和4年度予算概算要求額 769 (545) 百万円の内数
消費・安全対策交付金 2,783 (2,210) 百万円の内数】

<対策のポイント>

畜水産物の安定供給に必要な抗菌剤は、その不適切な使用を原因とした薬剤耐性菌の発生により、動物だけでなく、人への悪影響も懸念されることから、国内外で使用に関する厳しい対応が求められています。このため、輸出促進の観点からも、抗菌剤に頼らない畜水産物の生産体制構築が急務となっていることから、ワクチン、代替薬、迅速な診断手法等の開発を支援するとともに、薬剤耐性菌の監視・動向調査、抗菌剤の慎重な使用に関する研修を実施します。

<政策目標>

薬剤耐性菌の発生を抑え、国産の畜水産物に対する消費者の信頼確保に貢献するとともに、持続的な畜水産物の生産体制を構築

<事業の内容>

1. ワクチンや代替薬等の開発・実用化の促進 407 (215) 百万円の内数

① 不適切な抗菌剤の使用を防ぐため、迅速かつ的確な診断手法の開発のための調査研究を実施します。

② 抗菌剤の使用機会の減少に資するワクチン・免疫賦活剤・抗菌剤の代替薬剤・試薬・飼料添加物の開発・実用化を支援します。

2. 監視・動向調査の強化、抗菌剤の慎重な使用に関する研修の実施 362 (330) 百万円の内数

① 薬剤耐性菌のまん延防止に資する抗菌剤等使用のガイドラインを作成します。

② 農場ごとの抗菌剤の使用実態を正確に把握し、獣医師の投薬指導、畜産物の輸出時に必要な投薬証明に活用できるシステム構築に向けた調査等を実施します。

③ 家畜、養殖水産動物等における薬剤耐性菌発現の動向調査や、遺伝子データベースを活用し、動物からヒトへの伝播が懸念されている薬剤耐性菌の調査・解析を実施します。

④ 獣医師、生産者等への抗菌剤の慎重な使用に関する研修を実施します。

3. 養殖水産分野における指導体制の構築 2,783 (2,210) 百万円の内数

都道府県が行う魚類防疫員等への抗菌剤の慎重な使用に関する研修を支援します。

<事業の流れ>

国

補助、委託
委託
交付(1/2以内)

民間団体等 (1の事業)
民間団体等 (2の事業)
都道府県 (3の事業)

<事業イメージ>

1

抗菌剤による治療 → ワクチン等による予防

ワクチン・代替薬剤の開発

ワクチン等の疾病予防により抗菌剤の使用機会減少

2

動物分野の薬剤耐性の動向調査の強化

抗菌剤の使用量等を把握するシステムの構築

ガイドラインの作成

3

魚類防疫員 研修実施 → 能力向上 → 抗菌剤使用の指導

薬剤耐性菌の発生抑制

安全な畜水産物の安定供給
動物での抗菌剤の有効性確保

畜水産物に対する国内外の消費者の信頼確保
持続的な畜水産物の生産体制を構築

[お問い合わせ先] 消費・安全局畜水産安全管理課 (03-6744-2103)